

下記の内容はスポーツ省発行の感染拡大予防ガイドラインを参考に作成しています。

参照：https://www.mext.go.jp/content/20200526_mxt_kouhou02_mext_00028_02.pdf

参加チーム代表者はチームの関係者に対して下記事項のチェックを確実にし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をお願い致します。チーム代表者はチーム関係者（応援含む）全員に下記のチェックリスト、留意点の確認をしていただき□にチェックをお願い致します。また大会主催者は大会運営に対して、可能な範囲での感染予防対策を行います。事故、感染に対する責任は一切負いかねますのでご了承の上、この書類の提出をお願い致します。

感染防止策チェックリスト

□以下の事項に該当する場合は、自主的に利用を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）

- 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

利用者が遵守すべき事項

- マスクを持参すること（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の利用者、施設管理者スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 利用中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために施設管理者が決めたその他の措置の遵守、大会管理者の指示に従うこと
- 利用終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会管理者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 施設利用前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること
- 施設のシャワーは利用しないこと
- 更衣室は密にならないように、速やかに利用すること（人数制限に気を付けること）
- 主審、副審をする際には電子ホイッスル又はフェイスシールドを着用して吹笛すること

利用者が運動・スポーツを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
- 運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から周囲の人となるべく距離を空けること（※）感染予防の観点からは、少なくとも2 mの距離を空けることが適当である
- 位置取り：走る・歩く運動・スポーツにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは行わないこと
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 回し飲みはしないこと
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと
- 試合中のベンチでは、プレーしている選手以外はマスクを着用すること
- ハイタッチや握手、試合前後の円陣や声出しに関しては控えること



大会後（2 週間以内）に新型コロナウイルス感染が判明した場合、ライン又はメールにてご連絡ください。可能な限り迅速に同会場に参加していたチームの代表者に感染者が参加していた大会種類を連絡致します。またチーム代表者にチーム内の感染状況を確認していただきます。なお、大会主催者は事故、感染に対する責任は一切負いかねますのでご了承くださいm(_ _)m